

令和8年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

|                                |  |                               |    |   |                      |     |     |
|--------------------------------|--|-------------------------------|----|---|----------------------|-----|-----|
| 講義番号                           | 授業科目名  | スポーツマネジメント演習Ⅱ                 |    | 担当教員  | 小笠原正志                |     |     |
|                                | 英語授業科目名  | Seminar on Sport Management Ⅱ |    | 単 位   | 各 4                  | 学 期 | 通 年 |
| 対象年次                           | 2年次  | クラス指定                         | なし | 他との関連   |                      |     |     |
| 履修条件                           | 大学学部での履修や実務経験等を通じてスポーツマネジメントに関する知識を修得していること  |                               |    |   |                      |     |     |
| テーマ・副題                         | スポーツ組織におけるマネジメントやスポーツマーケティング   |                               |    |   |                      |     |     |
| 授業の教育目的・目標                     | 受講生の問題意識に基づいたスポーツマネジメントにかかる課題について、学術的なフレームワークを理解した上で論文作成に取り組み、議論を踏まえながら推敲を重ねることで、修士論文の完成に導く指導を行う。  |                               |    |   |                      |     |     |
| 授業の理解度の到達目標                    | 受講生各自の研究テーマに基づいて、高品質の研究論文を完成させる。   |                               |    |   |                      |     |     |
| 授業キーワード                        | スポーツマネジメント、スポーツマーケティング、スポーツ組織、ヘルスプロモーション   |                               |    |   |                      |     |     |
| 授業の内容                          | 受講生各自の研究テーマに基づく修士論文の作成指導   |                               |    |   |                      |     |     |
| 授業の方法                          | ① 受講生による「論文作成のためのフレームワーク」の発表と討議<br>② 受講生による研究論文の発表と討議  |                               |    |   |                      |     |     |
| 授業展開                           | 1. 講義ガイダンス<br>2. 論文作成のためのフレームワーク(1)<br>3. 論文作成のためのフレームワーク(2)<br>4. 論文作成のためのフレームワーク(3)<br>5. 論文作成のためのフレームワーク(4)<br>6. 論文作成のためのフレームワーク(5)<br>7. 論文作成のためのフレームワーク(6)<br>8. 論文作成のためのフレームワーク(7)<br>9. 論文作成のためのフレームワーク(8)<br>10. 論文の経過発表と討議(1)<br>11. 論文の経過発表と討議(2)<br>12. 論文の経過発表と討議(3)<br>13. 中間発表(1)<br>14. 中間発表(2)<br>15. 中間発表(3) |                               |    | 16. 論文の経過発表と討議(4)<br>17. 論文の経過発表と討議(5)<br>18. 論文の経過発表と討議(6)<br>19. 論文の経過発表と討議(7)<br>20. 論文の経過発表と討議(8)<br>21. 論文の経過発表と討議(9)<br>22. 論文の第1稿発表と討議(1)<br>23. 論文の第1稿発表と討議(2)<br>24. 論文の第1稿発表と討議(3)<br>25. 論文の第2稿発表と討議(1)<br>26. 論文の第2稿発表と討議(2)<br>27. 論文の第2稿発表と討議(3)<br>28. 最終発表(1)<br>29. 最終発表(2)<br>30. 最終発表(3) |                      |     |     |
| 成績評価方法                         | 修士論文の内容（80％）と授業への取組み姿勢（20％）を評価要素とする。   |                               |    |   |                      |     |     |
| 成績評価基準                         | 成績は、総合点で80点以上をA、79～70点がB、69～60点がCで単位認定とし、59点以下をDとして不合格とする。   |                               |    |   |                      |     |     |
| テキスト                           | 関連する資料や文献を適宜指示する。  |                               |    |   |                      |     |     |
| 参考図書                           | 講義の際に適宜紹介する。   |                               |    |   |                      |     |     |
| 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容 | 受講生各自の研究テーマに関する先行研究・参考文献・資料等の収集と分析（毎回2時間程度）。   |                               |    |   |                      |     |     |
| 学生へのメッセージ                      | 修士論文の作成を通して、スポーツマネジメントの理解を深めてくれることを期待します。  |                               |    |   |                      |     |     |
| オフィスアワー                        | 火曜2時限、金曜1時限  |                               |    |   |                      |     |     |
| 連絡先                            | 電話番号   | 0270 (32) 1011                |    | メールアドレス   | ogasawara@jobu.ac.jp |     |     |
| 人数制限                           | なし   |                               |    |   |                      |     |     |